

科目	原価計算	単位数	3	履修学年・クラス(講座)	2年商業科
使用教科書	原価計算 新訂版 (実教出版)				
補助教材等	簿記実務検定対策問題集 合格ガイド1級原価計算				

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2)原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。

(3)企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習方法等(授業担当者からのメッセージ)

- ・原価計算を学ぶ上で、それに必要な知識や技術を習得するだけでなく、製造業(工場)の製品が出来上がるまでのながれを掴みながら学習する。
- ・欠席せず、毎日の授業時間を大切にすること。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役立つ実務に即した知識と技術を身に付けるようにする。	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、原価計算をはじめとした様々な知識、技術などを活用し、原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見いだすとともに、原価情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、原価計算に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら原価計算について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、適切な原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算などによる原価情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度を養う。
主な評価方法	・定期テスト	・グループワーク ・発言等	・授業態度 ・提出物

4 学習及び評価計画

※評価の観点： (a) 知識・技能、 (b) 思考・判断・表現、 (c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時数	学習内容	評価規準
4	第1編 原価計算の基礎 第1章原価と原価計算 第2章原価計算のあらまし 第3章 工業簿記 -製造業における簿記-	12	<ul style="list-style-type: none"> 工業簿記は製造業に適用されるものを理解する。 原価の意味（製造原価・総原価）を理解する。 工業簿記における勘定記入の特徴を習得する。 工業簿記の一連の記帳手続を学ぶことにより、全体的な構造を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 製造業の特徴や原価の基本的な内容を理解しているか。(a) 製造直接費と製造間接費の区別の必要性や、製造活動に関わる勘定の特性について考え、表現できているか。(b) 工業簿記にあたり、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。(c)
5	第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費の計算 第5章 労務費の計算	10	<ul style="list-style-type: none"> 材料費、労務費の分類とその内容を理解する。 材料の消費単価と消費数量の計算方法について理解する。 予定賃率による消費賃金の計算と記帳方法を習得する。 賃金以外の労務費の種類と計算と記帳方法を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料費・労務費の分類とその内容を理解しているか。(a) 各種取引を適切に記帳することができるか。(a)(b) 賃金支払高の計算期間と賃金消費高の計算期間のずれについて理解し、賃金勘定と関連付けて表現することができるか。(b)
6	第6章 経費の計算 第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算	14	<ul style="list-style-type: none"> 経費の意味とその分類を理解し、消費高の計算と記帳方法を習得する。 個別原価計算のしくみや記入法を理解する。 原価元帳と製造勘定の関係を理解する。 製造間接費の配賦についての概要や差異分析を理解する。 仕損品・作業くずの意味を理解し、その処理を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 経費の消費高の計算において、なぜ3分類するのか、合理的な記帳法はどのようなものかについて考え、適切に判断・表現し、学習しているか。(b) 製造間接費の配賦方法について理解しているか。(a) 実際配賦の欠点を説明でき、予定配賦による記帳を行える。(a)(b) 原価要素について関心を持ち、意欲的に取り組むことができるか。(c)
7 8	第8章 部門別個別原価計算	9	<ul style="list-style-type: none"> 部門別個別原価計算の必要性を理解する。 原価部門の設定について部門別計算の目的から考え、各部門の役割を理解する。 部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 部門別個別原価計算の必要性が理解し、部門費配分表、部門費振替表を作成できる。それぞれにもとづく記帳ができるか。(a)(b) 原価部門の設定について部門別計算の目的から考え、各部門の役割について表現できるか。(b)
9	第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理	20	<ul style="list-style-type: none"> 生産形態の違い、原価計算の方法も異なりを理解する。 種類を理解する。 月末仕掛品完成品換算数量・加工費・加工進捗度などの用語の意味を理解する。 単純総合原価計算、等級別総合原価計算、組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と組別総合原価計算のしくみを理解し、活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合原価計算の意味を知り、それぞれの形態により用いられる原価計算の方法が異なることが理解でき、手続きの流れが習得できているか。(a)(b) 生産形態の違いから、個別原価計算と総合原価計算の違いを説明することができるか。(b) 問題に対して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。(c)
10	第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引	14	<ul style="list-style-type: none"> 製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解する。 販売費及び一般管理費の記帳方法を理解する。 月次決算の意味と年次決算との関連について理解する。 財務諸表や製造原価報告書の作成方法を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 製品の完成と販売に伴う手続きと販売費及び一般管理費の記帳方法が理解できているか。(a) 製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えているか。(b)

			<ul style="list-style-type: none"> ・工場会計の独立と、その記帳方法について理解し、習得する。 	
11	第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算その1 第15章 標準原価計算その2	12	<ul style="list-style-type: none"> ・標準原価計算が原価管理に役立つ理由を理解する。 ・標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解する。 ・完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解する。 ・原価差異の計算とその分析方法を理解する。 ・標準原価計算の記帳方法や損益計算書の作成方法を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準原価計算の意義と特色、手続きについて理解でき、完成品原価や月末仕掛品原価が計算できるか。(a)(b) ・なぜ、原価標準を設定するかについて理解しているか。(b) ・パーシャルプラン、シングルプラン記帳ができるか。(a) ・原価管理について関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢が見られたか。(c)
12 1	第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算その1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・直接原価計算が利益計画に適している理由を知る。 ・直接原価計算表の意義と特色を理解する。 ・直接原価計算による損益計算書の組み立て方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接原価計算の意義と特色、手続きについて理解できているか。(a) ・利益計算について関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢がみられるか。(c)
2 3	第17章 直接原価計算その2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・CVP分析や損益分岐図表により、売上高・原価・利益の関係を理解する。 ・高低点法を用いた原価予測の方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CVP分析や損益分岐図表で、売上高・原価・利益の関係が理解できるか。(高低点法)(a) ・損益分岐点比率と安全余裕率の意味を理解し、求めることができるか。(b)

